

第2回キャビネット会議 議案集 別紙

各位よりの提出案件 (審議事項)

各委員会委員長報告 (協議・報告事項)

第2回キャビネット会議提出案件

役職名 政策・会則・長期計画委員会

委員長 L 野崎 武

当委員会は、地区ガバナー飯田善彦Lより今期発行の必携第47版に基づき、運営するとの基本方針を受け、必携の必要性和改定の周知徹底をはかりさらに愛の泉基金の規定の整備並びにキャビネットと有限責任中間法人330-A地区支援会との諸約定の整備を諮問され、以下の通り提出案件として提案する。

記

案件1 リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンの任命について

(説明) ライオンズ必携の会則による任命方法の確定。

案件2 中間法人330-A地区支援会に対する「愛の泉緊急災害援助資金」からの貸付金処理について

案件3 330-A地区、愛の泉緊急災害援助資金規則の改定について

(説明) 愛の泉緊急災害援助資金は、緊急災害資金であるにもかかわらず、標題の「愛の泉」という用語と、第3条に「この資金の運用が330-A地区に特に必要と認めた場合には」とされ、その使途が制限されてないため330-A地区支援会に対する貸付金の問題も発生したものと考えられる。よって、本資金の使途を緊

急災害資金に限定するとともに標題の「愛の泉」を削除することを妥当と考える
がその際、現に存する３３０－Ａ地区から支援会に対する貸付金の処理も必要と
なるのでその処理について当委員会は以下の「貸付金の処理について」の通り解
決策を提案する。

案件４　３３０－Ａ地区　第５４回年次大会ガバナーズ、アワード及び表彰規定について
（説明）　審査方法の簡素化。

リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンの任命について（案件１）

３３０－Ａ地区は、近年リジョン、ゾーンの再編成を２回実施したため、標記構成員の任命方法について混乱を生じさせ、かつゾーン内クラブ転出転入において順番制が著しく変動し、ゾーンより地区ガバナーへの推薦等で無益な対立を招いている「編成替の弊害」が生じており、地区ガバナーより今期当委員会に対し今期発行の必携第４７版に基づきライオンズ必携、複合地区会則、第１６条（地区ガバナー、キャビネット）の１、（Ｐ１３９）においてキャビネット構成員の定義がなされ『本条及び第１７条、第１９条におけるリジョン・チェアパーソンは地区ガバナーが自己の任期中に任命するかどうかを定める権限を持ち、任命されなかった場合は空席となる。』

又、第１７条（キャビネット構成員）の２、（Ｐ１４１）において『前地区ガバナー及び副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は地区ガバナーによって任命される。』とされている。

以上のライオンズ必携、会則に照らし合わせ、選任における混乱を正常化するため、政策会則長期計画委員会は、次の通り提案する。

記

ライオンズ活動における原点である「ライオンズ必携」の会則に基づきリジョン・チェアパーソン及びゾーン・チェアパーソンの任命にあたりリジョン、ゾーンの順番制による地区ガバナーへの推薦は、地区ガバナーが選任の際の参考と位置付けるが、その任命はあくまでも地区ガバナーの権限によりこれを委嘱する。

この委嘱をもって、政策会則委員会はそのガバナー期の早い時期に、リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンが『ライオンズ必携に基づく実務』について、指導・助言するリジョン及びゾーンチェアパーソン会議を開催する。

中間法人３３０－Ａ地区支援会に対する「愛の泉緊急災害援助資金」からの貸付金の処理
について（案件２）

支援会によるキャビネット事務局不動産取得は、キャビネット事務局賃料等の軽減及び毎年生じた事務局移転による引越し費用の節約が目的であった。従前、年間約 1,200 万円かかっていた引越費用や賃料について、キャビネット事務局不動産を取得したため、年間賃料が 480 万円となり、年間 720 万円の軽減となっている。２年で 1,440 万円である。一方、「愛の泉緊急災害援助資金」（以下「援助資金」という。）からキャビネット事務局不動産取得のため、約 1,500 万円の貸付が支援会に対して行われている。この貸付を何時までも放置することはできない。他方、支援会の資金繰りの実情は、会員の死亡等により、予託金の返還が増え、年間 480 万円の賃料では予託金の返還もできない現状であり賃料値上げの声も出ており、このままでは貸付金の返還が不可能である。そこで、援助資金からの 1,500 万円の貸付と支援会の資金不足を同時解決する方策としては、下記の通り提案する。

記

貸付金を支援会に対する預託金とする。

（理由）現行援助資金規則 3 条では、資金の使用は、緊急災害ではなく、「この資金の運用が 3 3 0－Ａ地区に特に必要と認めた場合」は使用できることになっている。この条文に基づいて、予託金として支援会が直ちに返還する必要がないよ

うにする。前述したように、2年間でキャビネットは、既に1,440万円の利益を受けており、実質貸付金は返済されたようなものである。したがって、貸付金を免除すべきとの意見もあろうが、これは税金の問題もあるし、今後どれだけキャビネット事務局が軽減された賃料でメリットを受けるかの問題とのからみもあり、現段階では免除することは相当ではないだろう。

以上

330－A地区愛の泉緊急災害援助資金規則の改定について（案件３）

- 1 規則の表題の「愛の泉」を削除し「緊急災害援助資金」とし、第１条も同様に改正する。
- 2 第３条（貸付の運用）を次のように改正する。
 - ① 本資金の支出対象である緊急災害は、原則として 330 地区内の緊急災害とする。
 - ② 本資金は、地区キャビネットが実施する緊急災害アクティビティについてのみ支出することができる。
 - ③ 特に緊急性を要する緊急災害アクティビティについては、地区ガバナーは、金 200 万円までガバナー決裁で支出することができる。金 200 万円を超える場合は、地区キャビネット会議の決裁を必要とする。
 - ④ 地区内において、緊急災害援助用募金を実施した場合は、その募金から本資金より支出された金額相当を組み入れることとする。
- 3 付則に次の事項を追加する。

2007 年 月 日 本規則表題、第 1 条、第 3 条を改正

審議決議事項

330－A地区第54回年次大会ガバナーズ・アワード及び表彰規定について（案件4）

掲題の件につき次の通り提案する。

本案は審査について簡素化することを目的とする。詳細は次の通りとする。

1. 申請手続きについては従来通りとする。

各クラブより、担当ゾーンチェアパーソンに申請書を提出。

担当ゾーンチェアパーソンは、担当リジョンチェアパーソンに申請書を提出。

担当リジョンチェアパーソンがキャビネット事務局に申請書を提出する。

2. 審査については次の通り簡素化する。

担当委員会によるアワードの審査・裁決にて決定する。

この決定をもとにガバナーが最終決定をする。

第2回キャビネット会議提出案件

委員会名 会員増強委員会

委員長 L 曾根原 良仁

案件 1、 2008年1月～2月を地区会員増強月間と定めることの審議をお願い致します。

(説明) 今期国際会長マハンドラ・アヌラスリヤ氏の国際プログラムは会員増強を最重要課題とし又、今期飯田ガバナーはその基本方針の中に会員増強推進委員会の設置及び5%の会員増強の実施、地区純増目標300名設定しております。その目的達成のため会員増強月間を定めるものであります。

案件 2、 2008年3月11日 2007年—2008年度330複合地区ガバナー協議会主催「前期新入会員歓迎会」実施に協力をお願い致します。

(説明) 国際協会は毎年4月第3土曜日を世界一斉入会日と定めております。これに呼応して複合地区ガバナー協議会が主催し準地区ガバナー及び会員増強委員会がこれに協力するものであります。よろしくご審議をお願い致します。

第2回キャビネット会議審議事項

別紙 3

I T委員会 委員長
L 藤 村 貞 夫

審議事項

1. クラブ及び会員情報の管理

現在FAXなどで行なわれているクラブ及び会員情報の管理を、来期に向けて「サバンナ」上での管理に移行したいので、会員情報を「サバンナ」システムへ入力することをクラブに義務付けたい。(大半のクラブは入力済み)

これにより、クラブ及び会員情報はクラブとキャビネットで同時に同じものを共有できるので、今後の事務処理が迅速かつ的確に行なわれることになる。

2. クラブへの伝達の徹底

下記事項のクラブへの伝達をガバナー諮問会議などで徹底願いたい。

- ・ アクティビティ写真の投稿は今期のクラブ義務であること。(第1回キャビネット会議で承認済み)
- ・ 上記1.の「サバンナ」システムへのクラブ及び会員情報入力がクラブ義務であること。

以上、

第2回キャビネット会議提出案件

役職名 第6Rオズゾーン代表

第6R・第2東条と野南C

L名 鈴木 智子

案件 1、C.S.F II の件が

(説明) 最終年が大変ご苦労なさっている事は良く解っておりますが、すでに目標に達しているクラブも、まだまだのクラブも同じ様に案内が来るのが理解出来ない。もう少し目標に達しているクラブへの配慮が欲しいとのご意見が出ております。それと我がゾーンのイーストクラブの募集、新しく来るクラブの目標額、もう少し考えていただけないでしょうかとのことです。

案件 2、ホームページの件。

(説明) ホームページに紹介されるのが通いの事です。

(注) (1) 10月24日(水)までに330-A地区キャビネット事務局宛FAXもしくはE-mailにてご提出下さい。

FAX (03-5330-3370)

E-mail (cab@lions330-a.org)

(2) 案件は、「協議事項」、「審議決議事項」、「質問」と題して作成して下さい。

第2回キャビネット会議 委員長報告書（又は審議事項）委員会名 指導力育成委員会委員長 L 吉澤 隆志報告事項（又は審議事項）1 定例委員会開催に関する報告今期に入って次の委員会を開催した。第1回委員会 8月21日（火）4時～6時 於：㈱ミクプラニング会議室第2回委員会 9月28日（火）3時半～5時半 於：キャビネット会議室第3回委員会 10月26日（金）3時半～5時半 於：キャビネット会議室2 審議結果の報告① 刊行物の作成に関する事項

- ・ メンバーズマニュアルの改定を実施、作成する。
- ・ ロバート議事規則に関する手引きを新規作成する。

② セミナー開催に関する事項

- ・ 次期三役セミナーを開催する。時期は6月中・下旬を予定する。
- ・ 指導力育成セミナーを開催する。時期及び場所については至急検討、確定する。そのために各クラブに対しアンケートを実施する。

各リジョン、ゾーンにおいては、上記各項目に関して各クラブへの周知徹底をお願いしたい。

以上を報告します。

委員会名 LCIF・CSFⅡ特別委員会

委員長 L. 姉川 啓一

報告事項

★ 1. CSFⅡ街頭募金活動について

10月8日（祭）体育の日は、ライオンズディーとして、CSFⅡ街頭募金活動を東京全地域で行いました。

当日は朝から雨天模様でしたが、多くのクラブでご参加いただきました。街頭募金金額は現在集計中ですが、街頭募金活動をすることで、①ライオンズクラブのPR。②ライオニズムの高揚。③地域内メンバーとの絆。④ガバナー方針であります「奉仕活動を通して得る感動こそ会員の絆」を体感する一日でした。

後日談で、ライオンズクラブ入会に興味を示された人々の問い合わせがあったそうです。

次回、12月9日（日）世界障害者ディーもCSFⅡ街頭募金活動を予定いたしております。寒い時期ではございますが皆様方のご協力をお願いいたします。

★ 2. CSFⅡ献金状況

330-A 地区の3年間CSFⅡ献金目標金額は\$2,238,435であります。9月28日現在迄の達成金額は\$1,398,255で、達成率62.46％になります。全国34地区での成績は21位ですが、達成率は徐々ながら向上いたしております。

★ 3. CSFⅡチャリティー観劇会（明治座公演）

330-A 地区主催・CSFⅡチャリティー観劇会は既にご案内いたしておりますが、初春1月8日（火）明治座（貸切）午前11時開演 川中美幸 特別公演であります。観劇料一名 13,000 円（昼食付）は通常価格より安くなっております。

日頃ライオンズクラブ活動を陰から支えて下さっておられます、奥様方を始めご友人の皆様方とともに楽しい一時をお過ごしいただきたいと思っております。

なお、ご参加申込書はキャビネット事務局宛FAX（03-5330-3370）へお願いいたします。

お申込み後、観劇券をお送りいたします。お受け取り後、指定口座へご案内させていただきます。3～4週間かかりますので早めの申込みをお願いいたします。この度の観劇会はCSFⅡチャリティー活動の一環ですので、クラブヘカウントされます。皆様方のご協力をお願いいたします。

以上

I T委員会 委員長
L 藤村 貞夫

報告事項

1. メール活用の推進

205クラブ中、事務局としてメールアドレスの無いクラブが11クラブ有りましたが、各クラブの協力により、残り4クラブとなりました。委員会からも更にこれらのクラブへ働きかけしますが、RC及びZCからのサイドフォローをよろしくお願いする次第です。(2R3Z堀留LC、3R3Z青山LC、6R1Z三宅島LC、9R1Z品川LC)

2. キャビネットホームページの充実

前期同様、キャビネットからの情報発信をタイムリーに行い、クラブメンバーへのいち早い情報伝達を実現するよう努力しています。(配信文書の逐一な掲載、イベントの予定・結果、キャビネット会議の資料の事前掲載など)事務局員全員交代もあり、更新に多少の遅れが出ておりますことをお許しください。

また、クラブのアクティビティの投稿を必ず行ってもらおうよう、労力奉仕の月例報告が有ったクラブへ毎月逐一投稿のお願いを配信しています。これにより「クラブの活動」ページも充実してきました。アクティビティブック作成の原稿となるホームページを完成すべく写真の収集に努力していますので、皆様の協力をお願い致します。

3. 月例報告の提出徹底

8月3日にセミナーを開催しました(30名受講)。また、RC・ZC向けセミナーもそれぞれの会議の中で開催しました(担当クラブの月例報告閲覧用)。

サバンナ(地区とライオン誌向け)とWMMR(国際本部向け)というシステムでパソコンを使って月例報告を行ってもらっていますが、未だに期限内に提出できないクラブがあります。7月から9月の3ヶ月、サバンナの締切りに2回以上遅延しているクラブ名は以下です。(3R3Z青山LC、6R2ZイーストLC、9R1Z品川LC、10R3Z自由ヶ丘LC、11R1ZスバルLC)これらのクラブは事務局の構造的問題点があると思われますので、是非RC、ZCのフォローをお願いします。

また、WMMRの毎月の提出を忘れているクラブがたくさん見うけられます。さらに、サバンナとWMMRでメンバー数の差異が生じているクラブもあります。月例報告は、組織に属するための義務でありますので、地区役員の皆様からも徹底方、お願い致します。

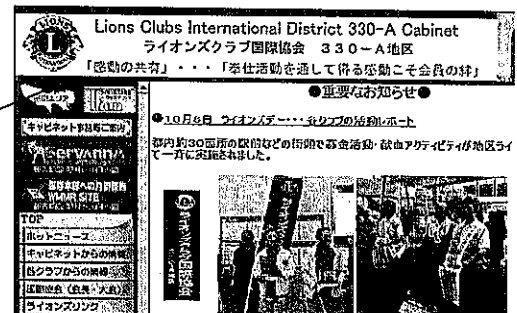
4. クラブホームページ開設の推進

現在205クラブ中、ホームページが何も無いと思われるクラブは78クラブなので、それらについてはキャビネット側でクラブの最低限の事項が記載されたページ(クラブ表紙ページ)を作成します。現在330-Aホームページトップ画面から「東京エリア」をクリックしてクラブ一覧のページを表示し、クラブ名を押すとそのクラブの

ページが開くようになっていきます。今後、デザインなどを工夫していきます。

<http://www.lions330-a.org/>

330-A地区 2007-2008年度クラブ一覧					
R	Z	クラブ名	R	Z	クラブ名
1	1	東京 丸の内	4	1	東京 隅田川
		東京 千代田			東京 西国
		東京 日比谷			東京 本所
		東京 馬場先門			東京 墨堤
		東京 有明			東京 目白
					東京 豊島西
					東京 パシフィカ



10R 2Z

クラブ名	東京	クラブ番号	51084
郵便番号	164-0013	地区: 170	日本: 2979
住所	中野区弥生町5-11 A301	結成順位	
tel	03-3382-9525	結成日	1990年11月16日
fax	03-3382-9525	チャーターナイト	1991年2月10日
E-mail	sangenjava@lionsclub.no.jp	スポンサークラブ	東京世田谷
homepage	http://sangenjava-lionsclub.com/	会長	五月女 仁
第一例会日	第1火曜日(原則)	幹事	井本 紀一
第一例会場	銀座アスター三軒茶屋賓館	会計	奥村 麻季
第二例会日	第3火曜日(原則)	姉妹提携クラブ	国内: なし
第二例会場	銀座アスター三軒茶屋賓館		海外: なし
主要アクティビティ	献血・骨髄・薬物乱用防止・青少年健全育成		

(上記をクリックするとアクティビティの画面が開きます)

それ以降のページはクラブで作成したページへリンクを貼ってあります。また、それ以降のページを未だ作成していないクラブに対しては、今後セミナーを開催して作成方法、外注先などを啓蒙する予定です。(次回予定の合同セミナー開催日を照準に)

5. クラブアクティビティ写真投稿要領

各クラブで年間3種類以上のアクティビティ写真提出の義務化

1種類の活動に付き写真2~3枚程度(日時、場所、クラブ名、100字前後のコメント添付)

(実際の活動している状況で、記念写真的でないもの)写真は1画面1ファイルとしてください。

写真プリントはL判程度。デジタルデータの場合は、1024×768ピクセル・1MBを越えない程度のJPEG形式。 投稿先 Email: toukou07@lions330-a.org または郵送でキャビネット事務局迄

以上、

第2回キャビネット会議提出案件

役職名 社会福祉 委員長

第4R・第2Z 東京城東 LC

L 名 木島 庄一

協議事項 1、主要駅多目的・だれでもトイレマップ、震災時初期手引4ヶ国語作成の件
(説明) 社会福祉委員会では、様々な世代の障害者が積極的に外出できるように都内主要駅
周辺の多目的・だれでもトイレマップを作成の調査を開始した。各委員の属する区役所など
を尋ね、トイレマップを収集。収集したトイレマップの傾向として携帯が難しい大きい本の中に
掲載されている、作成出版して3-4年以上経過し更新の予定が明確でない点、また、
行政施設は詳細であるが、繁華街や主要ターミナルの民間施設の記載に積極性が欠ける
点などが見出された。これらの問題を解決するために当委員会では、乗降客の多い駅
(東京、新宿、渋谷、池袋)と周辺繁華街の多目的トイレに掲載した携帯可能トイレマップ
(デジタルデータ)を作成し、毎年更新してホームページに掲載する方向で話し合いを重ねている。
また、震災時対応手引きを日本語だけではなく地震時の行動教育を受けていない外国
人のために英、中、韓国語でも発行し、皆に優しい手引きとトイレマップを表裏で作成予定。
協議のポイントとして330-Aの市民生活に役立つ継続的・全体的なアクティビティに育つよう
様々な委員会、クラブと横断的に連携、力を集結できるための方策の協議をお願いします。

協議事項 2、 障害者雇用手引き書、掲載の件

(説明) 障害者を雇用する場合、雇用者側にある賃金面の援助や雇用にかかわる手続き
手順等を、事業者が多いライオンの方々に役立つ情報として告知するため、全国ライオン
誌への掲載を検討中である。330-Aから全国への発信の必要性についてのご協議お願い
いたします。

(注) (1)10月24日(水)までに330-A地区キャビネット事務局宛FAXもしくはE-mail
にてご提出下さい。

FAX (03 - 5330 - 3370)

E-mail (cab@lions330-a.org)

(2)案件は、「協議事項」、「審議決議事項」、「質問」と題して作成して下さい。

役職名 エクステンション委員会・リテンション委員長

第11R・第2Z 東京しいの木L, C

L 名 L小島 清隆

案件 1、「審議決議事項」

(説明)

近年、国際会長はテーマの最前に会員増強、エクステンションをあげ それを受ける形で地区でも方針のトップに掲げている。

しかし、こんな時代ではEXTは無理だと口にする会員が多い。こんな時代だからこそ、EXTではないか。

出来ないからの出発ではなく、出来るへの発想に変えて進むべきである。

○目標は、各リジョンに1クラブ結成実現の為の全員参加

△情報の収集

○まずアクティビティありき

○発想の転換

△青少年育成(プロスポーツ界O, Bによるクラブ)

△障害者による、障害者の為のクラブ

△リタイヤした人の第2の人生。趣味を生かしながら楽しく社会に還元

△地域の行政の隙間を埋める奉仕及び行政と共に進めるクラブ

●330-Aしかないユニバーシティクラブ

●同業者の集りでの奉仕、クラブ

●女性がリーダーシップを取るクラブ

●弱小クラブ合併へ向けて前向きに発進

これらを全メンバーで考え、行動して形にしてゆきたい。御協力を願う。

第2回キャビネット会議 委員長報告書(又は審議事項)

委員会名 エクステンション・リテンション委員会

委員長 L 小島 清隆

報告事項(又は審議事項)

今期第1号の東京中央南ライオンズクラブが9月15日結成会を行い、誕生致しました。

東京荒川西ライオンズクラブを親として、23名で結成されました。汗をかくアクティビティを目指しています。

ただ今、11月18日(日)認証状伝達式に向けて準備をしています。

委員会では、時代に即した新しいクラブの結成に向けて全メンバーからのユニークなアクティビティを募集しています。

第2回キャビネット会議 委員会審議報告書

別紙 10

委員会名 財務・会計処理委員会

委員長名 L 坂 下 賢 三

審議事項

本委員会は、山浦ガバナー期の会計処理については「次期飯田ガバナー期にて、調査委員会を設け調査を継続して結論を出す。」と第53回年次大会において決議されたことを受けて、当該年度の会計帳簿等の調査を行いました。

以下、前期会計処理委員会（委員長L坂東和男）が問題点として指摘した事項にそって調査・検討した結果を報告いたします。

（指摘事項）

第1 予算の補正なしの大幅な支出増

予算の補正をはかることなく、当初予算を上回る大幅な支出増があったため年度収支としては、¥5,920,243の支出超過で直近5年間で最も大きな赤字額である。

予算超過支出の主な費目の検証

単位千円

ガバナー費

2,859

ほとんどが、クラブ周年行事の祝金（登録料）等であり容認できるものである。

贈呈費

2,719

名刺胸章 H16.9.29 役員胸章 788

交際費 H17.3.4～ 生花等慶弔費 11件 166 Δ 954

1,765

上記、他費目の混入がある。

バナー代、国際本部へ支払った用品代等であり容認できるものである。

名刺・胸章

3,440

会議費 H17.3.4 東京プリンス 年次大会 930

会議費 H17.3.30 ホテル海洋 AW審査会 350

会議費 // 東京プリンス 全体会議 712 Δ 1,992 1,448

788

2,236

上記、他費目の混入がある。

キャビネット役員の人数が多かった。名刺作成費については、追加作成分以外は当人から徴収していない。

過年度会計では「名刺・胸章費」の科目がない、ガバナー費に包含経理されていたのか。

過年度比較で89%（上記他費目混入を修正後）。

キャビネット会議費	24,976	臨時会費収入	21,189	
H16.7.29	(4,870)	7/29 振替 8月 登録料計	(2,630) (32)	
	4,870		2,662	
H16.9.1 (株)篠塚	(702)			
H16.9.6 成田真由美	(200)			
// 高橋勇市	(200)			
登録料?	-(955)	9/1 登録料 9月 登録料計	(264) (24)	
	147		288	
H16.11.5 成田真由美	(100)			
// 高橋勇市	(100)			
		11月 登録料計	(18)	
	200		18	

H16.12.2 京王プラザ	624	12月 登録料計	13	
H17.1.24	5,423	相手科目 臨時会費 1/24 振替	5,423	
H17.3.4 賛詞交歓	(4,333)	2月 登録料計 3月 登録料計	(1,062) (88)	
H17.3.4 臨時	(1,259)			
H17.3.30 第3回	(635) (322)	3月 登録料計 3/4 会議収入	(453) (5,423)	
	6,549		7,026	
4月計	150			
5月計	101			
H17.6.20 京王プラザ	(3,367)			
H17.6.30 年次大会	(3,456)			
6月計 その他計	(89)	4月 年次大会計 6月 登録料計 他委員会計	(2,336) (2,787) (636)	
	6,912		5,759	
	24,976		21,189	3,787

役員登録料収入	2,725	
7/29 振替	2,240	
その後の各月 合計	485	1,062

臨時会費収入等と両建て経理を行っている。実質、会議費は上記、1,062千円である。

PR情報関係費

7,192

H17.4.26	プログラム		892
	アワード集		1,160
			<u>2,052</u>
H17.6.30	名簿制作費	7/25支払	3,447
//	名簿制作費	7/28支払	3,000
//	名簿制作費	8/5支払	3,000
			<u>9,447</u>
//	新聞広告より	10/21	△ 2,396
//	PR情報より振替	10/27	△ 4,786
			<u>△ 7,182</u>

地区ニュース製作費の他、上記の支出及び広告料収入等がある。

予算を超えての支出は、名簿製作費に対する予算措置が不十分であったと考えられる。

事務局員給与

15,058

H17.6.30	慰労金		300
H17.6以降支払われた給与等			
	井上氏残業		483
	アルバイト料等として計		1,079
			<u>1,862</u>

事務消耗品費

2,182

キャンペーンが行事が多く、配布資料の数量、回数も多くなりコピー費等の支出が増えた。

運賃・発送費

3,120

上記と同様理由で、主に宅送便の費用に多く支出した。

家賃	旧事務所	月額	716 × 12	8,592
	新事務所		400 × 1	400
				<u>8,992</u>

※家賃及び管理費は契約により前家賃。経理の方法は支払基準。

16年7月に事務所を移転している。前中島期においては、前家賃契約ではあるが移転先の7月分家賃を支払っていない。当期、その16年7月分を7月1日に支払っている。

従って、山浦期においては移転後の家賃12ヶ月分計上することとなった。

17年7月よりダイカンビルの現事務所へ移転することが決まり、6月から移転準備を行い実質6月から新事務所を使用していたので6月分家賃40万円を6月28日に支払った。

結果、17年6月分については、新旧2ヶ所家賃を計上することとなった。

雑費

1,478

主な内容	H16.7.30	電気計量器	38	H17.3.30	屏風修理	100
	//	局印プレート	57	H17.3.30	社労士	108

H16.9.1	データ入力	74	H17.5.21	神社	30
H16.9.29	常陸宮	30	H17.6.7	局プレート変更	58
H16.12.27	PCメンテ	36	H17.6.28	バンケット	154
//	記録ビデオ	63	H17.6.28	修祓式	60
H17.1.28	ジャンパー	117	H17.6.30	監査準備	45
H17.3.4	速記	60	//	監査準備	68
H17.3.29	ケース	31			
					1,129

雑収入

H18.6.21	前期YEより	53,965	54
H18.2.28	チャリティサート		300
H19.5.27	年次大会ラッキーカード 協賛金		100
H19.6.1	事務局開き祝金等		215
H19.6.30	LCカードより		561
//	11/10 PR情報より		103
			1,333

2,278

【まとめ】

総予算の支出超過の主な原因は、名簿製作費、事務消耗品費、運送・発送費、加えて、臨時の給与及び家賃の想定外支出である。

予算書を一見しても、総収入70,990千円に対して総支出70,990千円（予備費を計上せずに収支同額としている）と、非常にタイトな予算組である。

想定外の支出はともかくも、名簿製作の計画があり、また、役員委員が多数で活発な事業展開の予定があるにもかかわらず、単に収支バランスをとるだけの予算組みでは、予算編成の段階で十分な検討が加えられたとは考えられない。

予算を超えての支出は補正予算の承認を経た上でと規定しているが、通常費用について補正予算を組むことは、時期と金額について単純な手続きではなく、過去の例に倣って「補正」の手続きを採らなかったとしても、重大な過失ありとしてその責任を追及することには躊躇する。しかしながら、せめて、超過支出の理由と経緯を数値を示して、適宜キャビネット会議に報告しその承認を得ておく必要があったことを指摘しておく。

第2 期後における大きな支出

事務局員の給与手当合計金1,862,371円（雑費名目での支出を含む）

キャビネット事務局運営には運営責任者の任期1年及び職員の単年度雇用という特殊性がある

- ・単年度制…ガバナー以下運営責任者の任期は1年。

しかしながら、決算事務をはじめ精算事務は退任後に行われ、翌期の第2回キャビネット会議前までには全ての事務を終了し次期に引継ぐのが通例。

当期においては、平成17年7月25日に、中村キャビネット運営資金として中村ガバナー口座へ¥10,000,000移動（移動後の預金残高¥38,141,527）。

その後、資金精算と決算事務を終了した後の残高(平成17年11月7日現在
¥54,340,153)を決算残高として報告している。

事務局職員の給与手当合計¥1,862,371は、平成17年7月1日以降山浦ガ
バナ一期の決算等事務に従事した旧職員に対する給与等であり、山浦ガバナ
一期の費用として、平成17年6月30日付け計上したものである。

・事務局職員の雇用形態…雇用期間1年とその更新

職員の雇用は1年ごとの契約である。通常は、ほぼ自動的に契約更改が行わ
れ、常雇と変わることなく事務に支障を来たすこともない。

前期のガバナ以下運営責任者が退任となっても、引き続き雇用された職員
が決算事務及び精算事務に従事し、その給与等の支払いは当然のこと職員が
就労した会計年度の計算において行われる。

【まとめ】

中村ガバナ一期において、従前の職員について契約の更新を行わず、全て新
規の職員に入れ替えられた。

この新職員の態勢で、前期の決算及び精算事務を行うべきであるが、支障な
く行われるかは疑問の余地があり、退職した旧職員にその業務を託さざるを
得なかった状況が窺い知れる。

旧職員を臨時に雇い山浦ガバナ一期の費用として計上しているが、状況を斟
酌すれば止むを得ない支出であり処理であったと考える。

慰労金、井上氏残業代については、過大、不当な支出とは言えない。

第3 大きな事務局家賃の支出（二重払い等）

合計金8,996,980円の家賃支出があった

【まとめ】

第1「家賃」の記述のとおり、前期中島ガバナ一期の平成16年6月分の支払いが
翌期山浦ガバナ一期の7月1日にずれ込み、結果として旧家賃の計上が12ヶ月分
となった。発生主義、現金主義、どちらの計上基準を採るかの問題は残るとして
も、不正や二重払いの過失は認められない。

【むすび】

キャビネットの会計は、事業計画にそって過不足なく予算が執行されなければな
らない。そのためには、事業計画、予算編成とも慎重に充分検討が加えられた上
で作成されることが肝要。山浦期の予算は、その後の予算執行状況から推測する
に事業計画を充分反映した予算立てとは考えられない。あるいは、予算を考慮し
ない執行があったのか、いずれにしても当初予算はその意味を失っている。

名簿作成計画等支出増加が予測されていた訳だから、勇気を持って支出超過予算
を組んで予算承認を受けるべきであった。

不正や二重払い、あるいは権限外支出は無かったことを結論とする。

添付資料：主な科目の比較表（キャビネット会議で配布された資料から作成）

主な科目の比較

単位：千円

	山浦G期				直前4期決算額				4期平均(B)
	予算額	決算額(A)	実行率	(A)÷(B)	小坂G	中野G	今井G	中島G	
収入の部									
地区会費	35,640	38,135	107%	92%	44,918	42,174	40,074	38,555	41,430
地区特別会費	12,960	13,709	106%	91%	16,334	15,336	14,572	14,020	15,066
国際本部交付金	700	747	107%	96%	645	1,023	623	825	779
臨時会費収入	18,680	21,189	113%	369%	3,166	3,533	7,193	9,071	5,741
役員登録料収入	2,500	2,725	109%	293%			3,720		930
受取利息	10	07	7%	5%	34	13	6	0.5	13
雑収入	500	2,278	456%	464%	634	700		631	491
繰入金収入					3,993	5,064	5,569	1,244	3,968
特別会計					(1,252)	(2,526)			
賀詞交換会					(2,000)	(1,000)		(1,182)	
年次大会						(900)			
広告収入					(741)	(212)	(936)	(62)	
会長・幹事会									
三役セミナー他									
当期収入合計	70,990	78,784		115%	69,724	67,843	71,757	64,347	68,418
支出の部									
ガバナー費/交通費	2,250	2,859	127%	97%	2,390	2,586	4,112	2,684	2,943
交通費		—			364	—	—	—	91
贈呈費	2,000	2,719	136%	136%	4,659	3,705	6,524	3,176	4,516
名刺・胸章	2,500	3,440	138%	(89%)	—	—	—	—	0
キャビネット会議費	19,040	24,976	131%	246%	7,728	7,757	15,980	9,131	10,149
PR情報関係費	5,000	7,191	144%	183%	3,649	4,215	4,453	3,377	3,924
事務局員給与	13,000	15,058	116%	96%	17,298	20,279	15,217	10,200	15,749
事務消耗品費	1,200	2,181	182%	233%	389	406	2,085	868	987
運賃・発送費	2,400	3,120	130%	280%	759	745	1,754	1,203	1,115
家賃	8,600	8,996	105%	120%	8,959	8,957	4,117	8,063	7,524
管理費	860	950	111%	49%	2,304	2,303	1,571	1,535	1,928
雑費	620	1,478	238%	172%	337	1,111	1,283	713	861
交際費(主に慶弔費)	200	199	97%	63%	427	305	325	198	314
その他合計	13,320	11,537		70%	19,063	15,405	19,089	12,284	16,460
当期支出合計	70,990	84,704		127%	68,326	67,774	76,510	53,432	66,511
当期収支差額		△ 5,920			1,398	69	△ 4,753	10,915	1,907

第2回キャビネット会議 委員長報告書

委員会名 環境保全委員会

委員長 L、 風 間 昭

報告事項

① 第1回 委員会 於：07'7月17日キャビネット事務局 PM 5:00 ～ 6:30

イ、前期委員会より引継事項確認

ロ、委員会・小委員会構成について

ハ、第1回 リーダー養成講座 中級セミナーについて

憲政会館 11月 13日 開催 審議決定

② 第2回 委員会 於：07'8月9日 キャビネット事務局 PM 4:00 ～ 6:00

イ、キャビネット会議 提出案件等 報告

ロ、小委員会報告

ハ、第1回 リーダー養成講座 中級セミナーについて 検討

◎ ガバナー公式訪問に出席し、セミナーのアピールをする

③ 第3回 委員会 於：07'9月11日 キャビネット事務局 PM 4:00 ～ 6:00

イ、330複合地区 ガバナー協議会 第1回 全体会議報告

○ 飯田地区、ガバナー、大内キャビネット幹事に 複合協議会議長の引継ぎ事項及び

地区キャビネット会議の承認のもと複合年次大会に於いて複合の環境憲章を議案とする

確認をした

ロ、第 1 回 環境リーダー養成講座 中級 セミナー について

名称に 環境リーダー 養成ステップ アップ セミナー とする

「不都合な真実」を上映 参加者自由とした

ハ、各小委員会報告

A 渡辺 小委員会 : 会場の都合で 国立オリンピック記念青少年センター

11月 14日 PM 1:30 受付 PM 2:00 ~ 5:00 に変更決定する

B 中谷 小委員会 : NGO : NPOリストより 18団体を選別

C 戸部 小委員会 : 3 月開講予定の環境リーダー養成講座、初級について

1部、地球温暖化 2部は都の環境問題についての取組み、施策の講演を依頼予定

④ 第 4 回 委員会予定 07' 10月 30日 PM 4:00 ~ 6:00

第 5 回 委員会予定 07' 11月 5日 PM 4:00 ~ 6:00

於 : キャビネット事務局

(注) 10月24日(火)までに330-A地区キャビネット事務局にご送付ください。

330-A地区キャビネット事務局 ・ E-mail cab@lions330-a.org

FAX 03-5330-3370

会長幹事担当委員長セミナー 報告

委員会名 薬物乱用防止委員会

委員長名 L, 黒田 幹雄

開催日時	2007年9月14日金曜日 13:00~17:00					
開催場所	憲政記念館 講堂					
出席者	○	飯田カバナー		大内キャビネット幹事	○	太田キャビネット会計
	○	委員長 黒田幹雄L	○	副委員長 金子将人L	○	副委員長 三輪正雄L
	○	副委員長 片江弘海L		副委員長 金子俊良L		
		委員 坪谷 茂L	○	委員 中條洋平L	○	委員 池田 勝一L
	○	委員 館 親光L	○	委員 桐井義則L	○	委員 高橋美恵子L
	○	委員 湯浅善信L	○	委員 塩川朋義L	○	委員 加藤 力也L
	○	委員 清水光博L		委員 田宮淑行L	○	委員 藤田 幸直L
	○	委員 杉村誠一L	○	委員 加藤 清L		
	出席オブザーバー					
	○	石井副地区カバナー	○	複合薬物乱用委員会 副委員長 寺田義和L	○	担当副幹事 大庭正行L
	○	厚労省監視指導麻薬対策課長補佐山口貴久	○	財)麻薬常設薬物乱用防止センター阿部俊三		
次 第	別紙式次第参照					
参加者	另リ糸氏	事前申込 187名 (当日欠席 25名・当日申込 20名)				
	出席者名簿	参加総数 182名				
	参照	参加クラブ 90クラブ				
総 評	過去の会長幹事担当セミナーは薬物乱用防止教育認定講師養成講座に近いプログラムで実施されていたのですが、今期は認定講師11年目を迎えて、まだまだ実施クラブが少ない現状を踏まえ、1クラブでも多く教室を実施してもらう事を主題に『学校』『教育委員会』『PTA』といった実施にあたり入り口ともいえるべき対象別に過去の経験に基づいてレクチャーする事を計画いたしました。 今期委員会には葛飾地区で大変苦勞しながらも今日多数の教室を実施されている館Lや江戸川区内で今や50校を越えそうな実績をお持ちの桐井L等が委員として頑張っていますので、別紙(式次第)の如くその苦勞話を折り込んで講師を務めてもらいました。 講演後には多数のクラブからご挨拶にみえて、大変興味深いお話であったと好評でした。少し糸口やヒントが見えたようで満足いくセミナーであったと自負しております尚、その他詳細については別添のCD(全てを収録)をご覧いただきたいと存じます					

第2回キャビネット会議 委員長報告書（又は審議事項）

委員会名 献血・エイズ委員会

委員長名 L 石 田 健

報告事項

この度の献血キャンペーン（ライオンズ・デー10月8日）は、期間も少ない中、東京都赤十字血液センターと連携し準備しましたが、我々委員会の説明不足により、リジョン・チェアパーソン始め多くのメンバーにご苦勞をお掛け致しました。

また雨天の中、本当にお疲れ様でした。

人工的に造ることのできない血液確保のため下記のように1000人近い採血者となったことを報告申し上げます。

1 A. 「献血バス」各会場実績一覧表

	受付	採血	400 ml	200 ml
1. JR池袋駅東口（2ヶ班）	72	56	45	11
2. JR新宿駅東口	57	36	27	9
3. JR上野駅中央口	71	48	43	5
4. JR蒲田駅西口	60	48	40	8
5. JR中野駅南口	45	37	25	12
6. JR八王子駅北口	91	60	41	19
合 計 6会場	396	285	221	64

B. 「献血ルーム」各会場実績一覧表

	受付	採血	400 ml	200 ml	成分
1. 有楽町献血ルーム	247	209	93	16	100
2. 新宿駅東口献血ルーム	298	237	98	19	120
3. アキバ献血ルーム	153	128	86	5	37
4. まちだ献血ルーム	88	74	23	7	44
合 計 4会場	786	648	300	47	301

2. 12月9日の献血キャンペーン（世界障害者デー）には、皆様のご協力とご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第2回キャビネット会議 委員長報告書 (又は審議事項)

委員会名 献眼 献腎 骨髓 移植 委員会委員長 L 水 上 義 文

報告事項 (又は審議事項)

アイバンク協会認定サポーター養成講座に協力のお願いについて
 行葉の初啓様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます
 さて角膜移植が行われて50年を迎えます現在角膜移植を
 希望される申し込みをふれている方は全国で約4,000名余り
 東京の4箇所アイバンク協会には522名の申し込みを頂いて
 あります開設以来の献眼眼数は全国で48,811眼であり
 東京では11,037眼で毎年全日本で1,500眼の角膜
 移植が行われこれにより目が見えるようになった人々の
 喜びは大変人まばものがあります

(財)日本アイバンク協会は障害者の福祉という崇高な社会
 使命を帯びながら43年を経過してありおかげで当町
 より全国54のアイバンクの運営は地元のライオンズC会員の
 指導のご支援により献眼運動は順調に進展して
 しており330-A地区にもサポーター227名の方々の
 ご支援をいただいております講習会には是非ご参加頂き
 サポーターとして東京のそして全日本の目の不自由の方々に1眼早く
 光を与えようではありませんか ありがとうございます

(注) 10月24日(水)までに330-A地区キャビネット事務局にご送付くだ
 さい。

330-A地区キャビネット事務局・E-mail cab@lions330-a.org

FAX 03-5330-3370

第2回キャビネット会議 委員長報告書 (又は審議事項)

委員会名 献眼 献腎 骨髓移植

委員長 L 水 上 良 夫

献眼・献腎・骨髓移植

年間予定

1. 2007年10月 8日 (月)
ライオンズ・デー CSFⅡ街頭募金活動 各クラブ単位開催希望
「骨髓移植推進街頭キャンペーン」応援
11:00AM 新宿アルタ前でガバナーあいさつ
2. 2007年12月 9日 (日)
世界障害者・デー CSFⅡ街頭募金活動 各クラブ単位開催希望
3. 2007年11月 9日 (月)
内容：献腎ドナー説明会 憲政記念館
4. 2007年11月 9日 (月)
内容：アイバンク認定サポーター養成講座の説明
5. 2008年 4月19日 (土)
第54回 330-A地区年次大会会場
内容：献血・骨髓ドナー登録の実施

(注) 10月24日 (水) までに330-A地区キャビネット事務局にご送付ください。

330-A地区キャビネット事務局・E-mail cab@lions330-a.org

FAX 03-5330-3370

第2回キャビネット会議 委員長報告 (又は審議事項)

委員会名 大会参加委員会

委員長 L 斉藤嘉全

報告事項 (又は審議事項) 第46回東洋東南アジアフォーラム参加の件

1. 日時 : 2007年10月12日 (金曜日) ~ 10月15日 (月曜日)
2. 場所 : 大韓民国 大邱広域市
3. 会場 : ワールドカップ大邱競技場
4. 参加クラブ数 : 55クラブ 26.9%
5. 参加人数 : 223名 4.1%
6. ガバナー囲む会参加人数 : 158名 2.1%
7. リジョン別参加者数 : 下記記載表参照

リジョン	フォーラム参加数	囲む会参加数	その他
1R	4	2	
2R	7	7	
3R	12	3	
4R	4	0	
5R	27	27	
6R	8	8	
7R	15	15	
8R	5	5	

リジョン	フォーラム参加数	囲む会参加数	その他
9R	2	2	
10R	15	10	
11R	25	24	
12R	14	4	
13R	36	34	
14R	46	15	
総合計	223	158	

8. バンコク国際大会概要及び日程予定(別紙参照)

●バンコク国際大会(2008.6.23~6.27)への代議員の登録は、ライオンズマンの義務であり、国際協会の懸案事項。代議員投票行使により決議する大切な役割を持っており、330-A全クラブより代議員の派遣を検討して下さい。尚、詳細については追ってご案内申し上げます。

バンコク国際大会日程予定表

6月23日	18:30-22:30	ガバナーエレクト夕食会
6月24日	07:30-09:00	キーアワード朝食会
	09:00~	インターナショナルパレード
	18:30-19:30	インターナショナルショー
6月25日	09:00-12:30	第一回 会議
	14:00-17:00	セミナー
6月26日	09:00-13:00	第二回 会議
	13:30-15:30	メルビン・ジョーンズ ランチョン
	14:00-17:00	セミナー
	20:00-22:00	パストガバナー 夕食会
6月27日	07:00-10:00	投票
	09:30-13:00	第三回(最終)会議

第2回キャビネット会議 委員長報告（又は審議事項）

委員会名 Y E委員会

委員長 L 島田益吉

報告事項（又は審議事項）

1. 定例委員会の開催

2007年 8月23日（新旧） 9月13日（第1回）

10月 5日（第2回） 11月 7日（第3回）

2. 複合地区ガバナー協議会 Y E委員会

9月17日（第1回） 10月17日（第2回）（Y E打合せ会）

11月6日（第2回）

3. 開催行事

① 2006~2007年度 Y E派遣生

帰国報告会および Y E Sクラブ結成式 9月22日

冬期ホスト家庭オリエンテーション 12月上旬

派遣候補生選考会 11月下旬

② 各クラブ Y E委員長会

9月27日

4. 活動状況

① 冊子の配布

2007~2008年度 Y Eプログラムを「各クラブ Y E委員長会」

において配布、各クラブにはメール便にて配布、わかりやすい

Y E活動等に、関心を寄せていただけるよう衆知徹底に努力い

たします。

② 来日生の状況

冬期 15名 A地区→6名

メキシコ 1名（M）シンガポール 2名（M・F）

マレーシア 3名（F）

ホスト家庭とホストクラブをよろしく願います。

B地区→6名 C地区→3名

第2回キャビネット会議 委員長報告書（又は審議事項）

委員会名 クエスト・青少年育成レオ委員会

委員長 L 橋 薫

報告事項（又は審議事項）

1. 第1回ライオンズクエスト・セミナーの報告

日時：2007年8月17日（金曜日）15：00～17：00、場所：キャビネット 事務局A・B会議室においてクエスト・セミナーを開催、PR啓蒙活動を成功裡に閉幕した。

「ライオンズクエスト」はライオンズクラブ国際協会の最重要「国際プログラム」で最重点分野の1つがライオンズクエスト・プログラムです。

「ライオンズクエスト」を通じて、青少年は勇気と自尊心を身につける、感情のコントロール、薬物乱用などを自ら防止していく力、社会奉仕活動を考え実行する能力、自ら問題を解決する能力など、教師を通して生徒児童に伝えていくプログラムです。

2. 上期のライオンズクエスト・セミナー開催予定

第2回ライオンズ・クエスト・セミナー開催

日時：2007年11月8日（木曜日）15：00～17：00、場所：キャビネット事務局A・B会議室、定員：50名、会費：無料

第3回ライオンズ・クエスト・セミナー開催

日時：2007年12月6日（木曜日）15：00～17：00、場所：キャビネット事務局A・B会議室、定員：50名、会費：無料

また、下期はライオンズ・クエスト・セミナー数回及びワークショップを開催しPR啓蒙活動を強化する予定です。

各位ライオンのご指導、ご支援、ご協力を宜しく御願い申し上げます。

以上

第2回キャビネット会議 委員長報告書(又は審議事項)

委員会名 女性参加家族会員増強委員会

委員長 L三ヶ嶋 将介

報告事項(又は審議事項)

今期新たに立ち上げられました当委員会は、マヘンドラ・アマラスリア国際会長の今年度の目標として、女性参加・家族会員増強を強く要望致しておりますが、家族会員増強については日本のライオンズクラブでは歴史、文化、伝統、生活習慣等の問題で現状の国内環境の中では、メンバーへの協力要請は受け入れが非常に困難ではないかとの判断により、当委員会に於いては、女性会員増強を今期の目標として努力する所存であります。

飯田ガバナーの330-A地区基本方針の中に女性会員の地位の向上の為、330-A地区全体の女性メンバーを対象にセミナーを開催するよう要望がありましたので、当委員会に於いて慎重審議の上「女性会員とガバナーを囲む会」コンセプトセミナーをバズ・セッション方式にて開催し、女性でなければ出来ない多くの奉仕活動、女性の古い習慣にとらわれない活発な意見討論の提供を頂き、飯田ガバナーの女性会員に対するお考えを率直に、ご回答賜われれば女性会員の新規獲得への意識の高揚に繋がると思います。

8月現在330A地区女性会員数359名(地区会員の6.7%)

女性会員加入クラブは、118クラブです。

尚「女性会員とガバナーを囲む会」は、10月29日ホテル ラングウッドにて開催されます。

未加入クラブは、是非女性会員増強にご理解と、ご協力をお願いし、委員会報告を終わります。

第2回キャビネット会議 委員長報告書（又は審議事項）委員会名 中間法人連携委員会委員長 L 池 田 和 司報告事項（下記の通り、中間報告を致します。）1、キャビネットの一般会計の財産目録の科目に出資金3,000,000円との記載が存し、且つその備考欄に有限責任中間法人330-A地区支
援会との記載があるが、「出資金」という記載の適否について。「当委員会は、300万円支出の実体から判断して正しくは「貸付金」
と表記すべきではないかという方向で目下検討中である。」2、キャビネットが330-A地区支援会に支払っているダイカンプラザB館2階の家賃1ヶ月40万円が適正金額であるか。「当委員会は、支援会側の財政事情と客観的な相場を考慮して、値上
げの方向で検討中である。」

（注）10月24日（水）までに330-A地区キャビネット事務局にご送付くだ
さい。

330-A地区キャビネット事務局・E-mail cab@lions330-a.org

FAX 03-5330-3370

第2回キャビネット会議 委員長報告書（又は審議事項）

委員会名 ; 事後処理特別委員会

委員長 ; L 脇 村 孝 友

報告事項（又は審議事項）

8月23日、9月3日、9月27日、10月19日と4回の委員会を開催致しました。
03～04期アフガニスタン教育支援と日比谷公園桜木植樹、05～06期のYE委員会
と環境保全委員会、06～07期のYE委員会、00～01期の三宅島支援に付いて調査
を行いました。

調査結果は、別紙報告書の通りとなりました。

1) 05～06期のYE委員会

2) 05～06期の環境保全委員会

3) 06～07期のYE委員会

尚、03～04期アフガニスタン教育支援と日比谷公園桜木植樹、00～01期の三宅支
援は、継続調査中です。

（注）10月24日（水）までに330-A地区キャビネット事務局にご送付ください。

330-A地区キャビネット事務局・E-mail

<mailto:cab@lions330-a.org>

委員長との会談結果報告

開催日 ; 2007年9月19日(水) 14:00~15:45

場所 ; キャビネット事務局

出席者 ; 05~06年のYE委員会 委員長 河合悦子L、副委員長 島田益吉L、
事後処理特別委員会 委員長 L脇村孝友、委員 L宮本慶文、L新井 衛、
副委員長 島田益吉Lは、15:00頃に中座された。

オリエンテーション講師代

講師(ジョー・コマツ氏)を9回招き行われ、受領書も明確であった。

印刷費

YEプログラム(600冊)、総合報告書(冊子300冊)作成とも明確であった。

会議費

YE委員会が京王プラザで開催され、コーヒー・ケーキ付きで、1名3,000円であった。
参加者107名から会費1,000円を徴収し、開催されたことが明確に処理されていた。

ホームページ関係費

578,837円(157,500円は報告書作成費)を掛けてドメイン取得代、サーバーレンタル代等で立ち上げて、ホームページを作ったことにより、冬期・春期・夏期の報告書がスムーズに出来た。

06~07年のYE委員会では、そのホームページを冬期・春期に使用されたようであるが、その後はストップしている様子。

現在は、大江戸LCの白崎誠一郎Lが管理をしている。

上記の会談の結果。

- ・YE委員会のホームページは、今期のYE委員会では使用しない。
- ・大江戸LCの白崎誠一郎Lとの連絡が取れていない。(10月23日現在)

事後処理特別委員会の見解

- ・収支報告書は、メンバーの誰が見ても理解し易く、詳細に作る必要がある。
- ・現在、個人で管理しているYE委員会のホームページを、キャビネット管理に移行することにより、421,337円を掛けて作ったホームページが生かされてくる。
- ・今後は、IT委員会と共同して使用することにより、委員会のスピードと簡素化を進めて欲しい。

委員長との会談結果報告

開催日 ; 2007年9月18日(火) 14:00~16:00
場 所 ; ロイヤルパークホテル
出席者 ; 05~06年の環境保全ボランティア委員会 委員長 瀧澤賢司L
事後処理特別委員会 委員長 L脇村孝友、副委員長 L鈴木定光

協賛金54クラブ	2,376,700円
桜植樹20本	972,225円
ベンチ2脚	700,630円
植樹会(69名の参加者名簿あり)	160,580円
観桜会(58名の参加者名簿あり)	262,954円
その他(17年度協賛者プレート費・植樹掲載新聞購入費)	71,450円
返金額	208,000円

委員会で決定し実行。

植樹提案6クラブ及び5万円未満のクラブは対象外。

5万円を1口で、1口以上協賛頂いたクラブに8,000円(1口に付き)。

25クラブ・26口(2口=1クラブ)

愛の泉緊急災害援助資金へ 861円

上記の会談の結果。

- ・植樹会・観桜会は、領収書に「お食事代として」の記載通りである。
出席者から会費を徴収しない飲食をとまなう経費であった。
- ・返金クラブ一覧表には、東京西新井LCが該当するのに返金額0円で、東京神宮前LCは協賛をしていないのに5万円の返金になっている。
おそらく東京西新井LCと東京神宮前LCとの記入ミスであろう。

事後処理特別委員会の見解

- ・事業費として協賛金を頂いたのを例会費(飲食費)に使用するの、今後のキャビネット運営に検討課題であるし、ルール作りも必要である。
- ・剰余金の返金について、委員会で決定されて実行されたが、今後の協賛金方法に検討する必要がある。
- ・書類に記入ミスがあったが、今後は委員会で詳細を確認後、提出をする必要がある。

〇 6 ～ 〇 7 Y E 委員会収支報告書について

開催日 ; 2007年10月19日(金) 15:30～17:30

場 所 ; キャビネット事務局

出席者 ; 副地区ガバナー 石井征二L

キャビネット副幹事 小斎太郎L

事後処理特別委員会 委員長 L脇村孝友、
副委員長 L鈴木定光、L加藤凱正

委 員 L宮本慶文、L小泉重光、

クラブ会長宛に提出された「〇 6 ～ 〇 7 年度 Y E 活動報告書」の収支計算書の中で、スピーチコンテストの部の支出が484,881円と記入をされていたが、60円の誤差があるので元帳を確認した結果、会場費が209,265円となっているのに、Y E 活動報告書には209,205円と記入されていた。

前年度繰越金が1,183,466円、各クラブからのY E 協賛金が2,938,100円、その他の収入207,978円、合計で4,329,544円であり、残金は0円である。

「Y E の部」と「スピーチコンテストの部」を合わせて、4,463,879円の支出となっている。不足分の134,335円は、キャビネット補助金として出されている。

キャビネット補助金は、キャビネット予算の委員会活動費から支出されたと思われる。

事後処理特別委員会の見解

- ・収支報告書は、元帳とよく照合し、確認をして間違いの無い様に作る必要がある。
- ・キャビネット予算の委員会活動費から支出されているが、Y E 委員会のアクティビティの一部として、地区会費（キャビネット予算の委員会活動費）からY E 委員会に補助金を出すことは、見解の相違（アクティビティ資金？・委員会活動費？）で、いかようにも考えられる。
- ・今後は、330-A地区メンバーより徴収した地区会費を、アクティビティ資金に流用するのか、純然たる委員会活動費に使用するのか、等々のルール作りが必要と思われる。

(2007年～2008年)

(東京消防庁認定上級救命技能講習会)

緊急対策委員会

委員長 梶原正和

今年度も330A一地区におきまして第6回上級救命技能講習会を実施いたします。応急手当の方法は5年毎に見直されています。今までに多くの人たちが応急手当のおかげで尊い命が救われています。突然に心肺停止した方を救命する為にはどんな場所でも居合わせた人達による応急手当が必要です。救急隊の到着前の応急手当が救命効果を上げるための一番重要な事で医学的にも証明されております。119番通報してから救急隊員が到着するまで約6-9分かかると言われます。その間が命を救えるかどうか皆様にかかっております。万が一心肺停止した方に出会っても何も心配することなく又ひるむことなく対応するには常日頃の救命処置技術を身に付けて置くと非常に役に立ち助かります。自分の家族や身近な人その他突然遭遇された方の為に速やかな応急手当が出来ますように。又近くにある「AED」(自動体外式除細動器) の使用方法 止血法 包帯法 その他 外傷 骨折 やけど 等の応急手当これらの認定証は3年に一度の更新が必要です。新規の方も知識と技術を身に付け認定証の取得が出来ますよう委員会は今期も講習会を開催致します。

東京消防庁認定「第6回上級救命技能講習会」について

主旨 330-A 地区ライオンズクラブの奉仕活動の基幹事業です。

救命する為の応急手当が多くの人命を救える生命に関する事業の一つとして救命講習会が位置付けされます。

東京消防庁総監認定書が発行されます、認定期間は3年で更新です、今年度は第6回目の新規に受けられる方と3年目の更新される方の講習会を開催いたします。

(開催日は) 2008年3月25日火曜日予定。

(講習会は) 認定期間は3年で更新しなければなりませんですから毎年実施することになります、

(会場は) 実施場所に関しては麹町消防署にお願いしてあります、(今まではキャビネットより30万円の予算を出して頂いておりましたが今期は委員会予算は0という事ですので会場費無料の所と考えております。)

(参加者は) 会場にあわせて先着何名という方法をとります、

(参加費用)

予算書(案)

支出				収入	
科目	(財)救命協会一括支払い	科目	新規者	受講料	2、600
				教材	2、500
				計	5、100
			更新者	受講料	1、600
				教材	2、500
				計	4、100

両者とも個人負担(人数分の支払い)

* 予算書は実費個人負担とし参加人数分の支払い。